

真砂小学校区コミ協だより 第16号

平成26年2月25日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会
編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会



福祉部会
うきうき元気塾
「うきうき元気に生きましょう」

平成25年9月14日(土) 高齢者の体力・気力、特に心の健康増進を図るため、概ね60歳以上の方々を対象に坂井輪コミュニティセンターで開催した。今年度は

は落語家の「水都家艶笑師匠」を招いて「笑いと健康」をテーマに小噺や新作落語の「老婆の休日」など洗練された話芸で会場は爆笑の連続でした。



みなとやえんしょう「水都家艶笑師匠」の話芸に爆笑

余興として南京玉すだれの披露もありました。健康増進講座では「生活習慣病予防について」と題して西区役所健康福祉課小川保健師から講義を、ハワイアンフラではフィオケアロプアケア フラストジョ主幸松井宏美様ほか四名の方々の出演でハワイアンフラの基本動作の指導や独自で振付をした「ハナミズキ」「ふるさと」などを含め五曲を表情豊かに踊っていたきました。

参加者100名の反応はすこぶる好評でした。閉会後は希望者に保健師による血圧測定が行われました。

世代交流の集い

「こどもたちと遊び隊」

平成25年8月22日(木) 高齢者が子供の頃の遊びを通じて子供たちとふれあい、昔からの遊びを伝承するとともに高齢者のいきがいくりの場とすることを目的に概ね60歳以上の方々と小学1年生から4年生(真砂ひまわりクラブを含む)を対象として真砂会館で開催した。

この事業は昨年度から始めたもので、内容は、お手玉、あやとり、おはじき、メンコ、折紙のほか新たに動物将棋、五目並べを加え、希望するゲームに分かれて楽しんだ。

(2頁へ続く)



真剣な表情のこどもたち

青少年健全育成部会

10月27日(日)の

また、子供達の創造性を高めるため招いたバルーンパフォーマーJINさんがゴム風船を使ってミッキーマウスを作ったり、マジックなどの芸に興味津々。



また11月30日には、まさご体験教室「こま回し・はねつき大会」を真砂小学校体育館にて開催、約130名の参加がありました。

両行事とも昔遊びを初めて体験する子供たちが多かったものの、地域の方々の指導でたちまち上達する姿がみられ、多くの世代交流が進んだ両日でした。

写真・10月27日
「プレイゾーン」

文化部会 真砂小学校文化祭協賛の作品展示

地域19自治会に回覧を通して、展示用写真を募り、部員と地域写真同好会の皆さんと展示方法と協議し、応募者の好意を最大限生かせるよう心がけた。写真応募者10人と昨年に比べて減ったが、レベルはアップしたと思う。



地域の集会場「真砂会館」で活動している「絵手紙の会」グループと共同の発表という形をとって、文化祭前日に展示作業をし、文化祭終了後に撤収した。

今回は、展示室が移されて学校の教育コーナーネットターによる展示とが同室で、スペース的に苦しかった。

観覧者人数：250人

昨年は、350人を超す父母・児童それから自治会・コミ協役員の姿が見えたが、今年には児童が少なかった。



その後JINさんの指導で参加者全員が犬、キリン、トンボづくり挑戦、どんどん進める子供や風船が割れないか慎重に取り組む子供などほほえましい光景でした。

作品とお菓子のお土産を頂いて終了。

高齢者36名、小学生52名、計88名の参加を得て楽しい一時を過ごしました。



文化部会 文化講演会

「良寛に学ぶ」

講師・長谷川義明氏「前新潟市長」

平成25年11月24日（日）



全国良寛会会長の講師を迎え、長引く不況や大震災からの復興の立ち遅れ、日常化しているいやな事件の中で、一人の人間としてどのように生きていけばよいのかを、良寛の生き様から学ぼうと企画した。

昨年の版画家の講演会には90人超という参加申し込みがあり、会場に入りきれなかった。今年も、各自治会に回覧を依頼し、参加者を募ったところ、当日参加も含め85人を超す参加を見た。

紙芝居の中に挟んだ、訥々トツトツとした氏の話し振りの中、いつしか良寛和尚の生き方に引き込まれていった。

良寛の歌の解説を聞きながら、地域の人や子供との関わり方を学び、禅僧の生き様を学んだ。

今と違い、身の周りの自然のもの「ゼンマイの綿など」を利用した手毬を出して、こういう物で村の子供たちと遊んだことを学び、ひよっと日常に引き戻されたり：



生活環境部会

原発問題講演会

平成25年11月19日（火）



福島第一原発の事故以来、原発について非常に関心がたかまり今日最大の社会問題です。

真砂コミ協生活環境部会では原発事故は人間と生物全体の環境問題として正しい認識を持つ必要から講師に新潟大学教授の関根征士先生を招き講演会を実施しました。

真砂コミ協加盟自治会、団体等の方々に回覧等で案内し当日60名余りが参加しました。講演内容は原発の危険性、事故原因を津波による想定外では済まされないこと、放射能汚染の危険性、内部被爆の内容、核のゴミ問題などをわかりやすく説明してもらいました。

また世界最大の集中立地である東電・柏崎刈羽で「フクシマ」が起きた場合の問題、福島のみならず事故処理と柏崎刈羽の再稼働についての問題も説明されました。

それから原発の発電コストと再生可能エネルギー展望もわかりやすく話をされました。

最後に参加者からの質問がありました。丁寧な回答で頂き質問者も納得していました。



交通安全・防犯部会

海岸パトロール



8月3日6時30分に集合し、夜回り隊について説明のミーティング30分、その後小針浜よりパトロールの実施、サウンドクラフトを作っていた若者で賑わっていた、子供達は親と一緒に楽しい様子で知合いも数人いました、また屋台が2軒ほど出店していた。

地蔵浜までの1時間ほどのパトロール無事に終了、今後地域の公園パトロールを区役所の坂井さんを呼んで実施する予定です。

スポーツ部会

野球大会

5月12日より7月30日まで

真砂小学校グラウンドは8月より改修工事のため長期に亘りリーグ戦が開催できず、日報杯と信用金庫杯のみ実施。

日報杯

優勝 松海が丘第1

準優勝 真砂2丁目

信用金庫杯

優勝 真砂1丁目

準優勝 真砂2丁目

グラウンドゴルフ大会

平成25年10月19日(日)

参加者数が一番気になるところだったが結果として7自治会、8チーム32名の参加を得て実施することができた。

参加者の殆どが初めての手探り状態でスタートしたがすぐに要領を覚えホールインの歓声も上がるようになった。

後半戦に入るとホールインワンも出る快挙もあり11時30分2ゲーム終了。

元コミ協顧問若林さんから閉会の挨拶を戴き無事終了。参加者からは簡単なようだが意外と面白い、楽しめた、またやって欲しいなどの声も聞こえ、今後の開催に期待を抱かせた。

結果 1位 松海が丘・真砂連合

2位 西小針台・真砂1



太極拳初心者講習会



心身の健全育成とバランス感覚を養う目的で開催した講習会。

決して派手な動きではなく、基礎を主体とした講師の指導方針は、武術とは言え攻撃ではなく相手の力を受けて流す防御の実施を目的の当たりにし納得はするものの技術の習得迄にはなかなか到達できない状態。動機付けが限界か：

11月23日・12月1日の2回実施。
12自治会より延べ48名参加。

防災部会

新役員決まる

平成25年10月17日(木)防災部会の会合があり新部会長、副部会長の選任を行いました。

新部会長

中村健三郎(自由が丘自治会長)

副部会長

八子聡(晴海ヶ丘自治会長)

大久保久治(日和ヶ丘自治会防災部長)

の3名を選出いたしました。

部会長のコメント

コミ協の防災に関する問題等、受け皿になりますように皆様と力を合わせてやっていきたいと思っております。
よろしくお願い致します。

編集後記

今回は7部会全部の活動を載せることができました。各部会とも大変ご苦労されたのではないかと思います。紙面の都合で各部会のコメントが少なくなってしまう申し訳なく思っています。次年度はページ数を多くし活動報告、写真等を多く載せられるよう努力します。多くの資料等寄せて頂いた方々にお礼申し上げます。

まだ寒い冬が続いています。風邪、インフルエンザ等病気には十分注意しましょう。前回に引き続き全世帯に配布いたします。